

実施設計時と最終精算金額 (現地通貨による)

(単位: F\$)

工 種	実施設計時金額 (1988年3月)	最終精算金額 (1988年12月)	備 考
(A) ナブア地区			
1. 圃場整備工			
(1) 表土扱い工	50,095.50	25,850.00	
(2) 圃場造成工 A区分	40,496.30	11,750.00	
(3) " B区分	31,983.90	16,500.00	
(4) 畦 畔 工	3,611.40	1,216.00	
(5) 道路・用水路工	45,357.00	33,881.00	
(6) 排水路工	29,400.80	12,000.00	
小 計	200,944.90	101,197.00	
2. 分 水 工	16,632.20	7,916.00	
3. 流入・流出工	8,131.50	9,340.00	
4. 用水路横断工	15,796.30	13,377.50	
5. 排水路横断工	3,237.00	1,040.00	
6. 排水路横断工	6,893.90	10,726.50	
計	251,635.80	143,597.00	
7. 追加工事			
(1) 追加工事 (その1)		9,250.56	
(2) 追加工事 (その2)	〔 予 備 費 〕 25,163.58	18,725.00	
(3) 追加工事 (その3)		26,400.00	
小 計		54,375.56	
ナブア地区 合 計	276,799.38	197,972.56	

(単位：F\$)

工 種	実施設計時金額 (1988年3月)	最終精算金額 (1988年12月)	備 考
(B) ナウソリ地区			
1. 圃場整備工			
(1) 圃場造成工	42,038.10	19,500.00	
(2) 畦 畔 工	7,476.30	3,240.00	
(3) 道 路 工	33,498.40	31,800.00	
(4) 排水路工	23,458.50	12,000.00	
(5) 伐 開 工	3,078.40	5,120.00	
小 計	109,549.70	71,660.00	
2. ストップゲート工	14,228.50	9,862.00	
3. 流 出 工	3,963.70	5,437.50	
4. 進入路工	41.60	250.00	
5. 排水路横断工	2,428.40	802.50	
6. 排水路横断工	6,893.90	10,726.50	
計	137,105.80	98,738.50	
7. 追加工事			
(1) 追加工事 (その1)		9,600.00	
(2) 追加工事 (その2)	〔 予 備 費 〕 13,710.58	28,200.00	
(3) 追加工事 (その3)		7,432.70	
小 計		45,232.70	
ナウソリ地区 合 計	150,816.38	143,971.20	

(単位：F\$)

工 種	実施設計時金額 (1988年3月)	最終精算金額 (1988年12月)	備 考
(C) 圃場管理棟 1. ナブア地区圃場管理棟 2. ナウソリ地区圃場管理棟 小 計 3. 追加工事 圃場管理棟合計	17,217.20 19,032.00 36,249.20 (予備費) 3,624.92 39,874.12	50,000.00 10,000.00 60,000.00	
(D) 工事諸費	22,832.70	16,266.68	
総 計	F \$ 490,322.58	F \$ 418,210.44	

(93円/F\$)

(94.32円/F\$)

実施設計時金額と最終精算金額 (円貨による)

(単位：円)

工 種	実施設計時金額 (1988年3月)	最終精算金額 (1988年12月)	備 考
(A) ナブア地区			
1. 圃場整備工			
(1) 表土扱い工	4,658,880	2,438,172	
(2) 圃場造成工 A区分	3,766,160	1,108,260	
(3) " B区分	2,974,500	1,556,280	
(4) 畦 畔 工	335,860	114,693	
(5) 道路・用水路工	4,218,200	3,195,656	
(6) 排水路工	2,734,270	1,131,840	
小 計	18,687,870	9,544,901	
2. 分 水 工	1,546,790	746,637	
3. 流入・流出工	756,230	880,949	
4. 用水路横断工	1,469,060	1,261,766	
5. 排水路横断工	301,040	98,093	
6. 排水路横断工	641,130	1,011,723	
計	23,402,120	13,544,069	
7. 追加工事			
(1) 追加工事 (その1)		872,513	
(2) 追加工事 (その2)	〔 予 備 費 2,339,880 〕	1,766,142	
(3) 追加工事 (その3)		2,490,048	
小 計		5,128,703	
ナブア地区合計	25,742,000	18,672,772	

(単位：円)

工 種	実施設計時金額 (1988年3月)	最終精算金額 (1988年12月)	備 考
(B) ナウソリ地区			
1. 圃場整備工			
(1) 圃場造成工	3,909,540	1,839,240	
(2) 畦 畔 工	695,300	305,597	
(3) 道 路 工	3,115,350	2,999,376	
(4) 排水路工	2,181,640	1,131,840	
(5) 伐 開 工	286,290	482,918	
小 計	10,188,120	6,758,971	
2. ストップゲート工	1,323,250	930,184	
3. 流 出 工	368,620	512,865	
4. 進 入 路 工	3,870	23,580	
5. 排水路横断工	225,840	75,692	
6. 排水路横断工	641,130	1,011,723	
計	12,750,830	9,313,015	
7. 追加工事			
(1) 追加工事(その1)		905,472	
(2) 追加工事(その2)	〔 予 備 費 〕 1,275,170	2,659,824	
(3) 追加工事(その3)		701,052	
小 計		4,266,348	
ナウソリ地区 合 計	14,026,000	13,579,363	


(単位：円)

工 種	実施設計時金額 (1988年3月)	最終精算金額 (1988年12月)	備 考
(C) 圃場管理棟 1. ナブア地区圃場管理棟 2. ナウソリ地区圃場管理棟 小 計 3. 追加工事 圃場管理棟合計	1,601,200 1,769,980 3,371,180 { 予 備 費 } 336,820 3,708,000	4,716,000 943,200 5,659,200	
(D) 工事諸費	2,124,000	1,534,273	
総 計	45,600,000	39,445,608	6,154,392

7-3 業務日報及び工事実施状況報告書

この業務日報及び工事実施状況報告書は現地で1ヶ月毎に報告・提出した業務状況報告書を取りまとめたものである。

文書受付

事業団本部			プロジェクト		
部長	課長	担当	リーダー	調整員	報告者
				原見	坂梨

業務状況報告書

発信番号()

(昭和63年8月期分)

発信日 年 月 日

国際協力事業団
総 裁 殿

フィジー国稲作研究開発パイロット
プロジェクト名 インフラ整備事業施工管理業務
リーダー名 坂梨 良介

件名：フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備
事業 施工管理業務の昭和63年8月分業務
報告書の提出に関して

上記業務の昭和63年8月分業務報告書を
以下の内容で提出致します。
御査収の程 宜敷く御願ひ致します。

(内 容)

1. 契約業務進捗状況
2. 現地調査期間の変更
3. 圃場管理施設の計画見直し
4. 来月の予定
5. 業務日誌
6. 添付資料

以上

1. 契約業務進捗状況

(1) Bid Document (入札書類) の作成

実施設計調査時(5.63年1月~3月)に作成の Bid Document (案)に対し、Fiji国内で採用している方式(国際入札方式)とした方が、業者の対応もスムーズに行くとの指摘が O&I div. (水産産業省 排水かんが部)の契約担当者よりあり B.Q (工事積算書)を含めた Bid Document - 式の組替、編集を行った。

(2) 工事費の見直し

B.Qの組替之に際しては、現(5.63年8月)時点での単価による工事費見直しを行った。その結果、鉄筋、コンクリート等に価格上昇等が見られたが、実施設計調査時にやや余裕を見込んでいた為問題はなかった。但し、Fiji側より同国で現在進行中、及び今後予定されている同様工事に対する影響を考へ、相応の単価、工事費とする様にとの意見があった。工事費の見直しの結果、以下に示す総工事費(圃場管理施設は除く)が得られた。実施設計調査時の工事費と比べて低くなったが Fiji側の了解も得られた事よりこれを設定工事費として確定した。

- ・ 実施設計調査時工事費(5.63年3月) : F\$ 388,700 (1.00) ^{比率}
- ・ 今回の見直し工事費(5.63年8月) : F\$ 290,100 (0.75)

(3) 工事業者の選定

雨期稲作の開始が間近となり 工事期間が重要事項である。そのためには工事業者に十分な施工能力(機械)としっかりした運営体制が要求される。工事地区が24PTあり、業者も2社とする方式も考えられるが、相応の業者に仕せるには少なくとも F\$ 250,000 ~ 300,000 以上の工事規模でなくては関心を示さぬ事もあり、今回の契約は

1本立とし、十分な監理を行う方針とした。

具体的な業者選定は O&I Div. に P.Q. (事前審査) を経て登録されている業者の中から、今回工事の内容等を考慮し、又 Fiji 側との協議を経て以下の4社を指名業者に選定した。

この業者選定に際して特に留意した事項は次の4点である。

- ・ 11月末頃までに工事を完了できる能力(機械)を有す。
- ・ 同様工事に十分な経験を有す。
- ・ Fiji 国内でも高い評価を得ている。
- ・ 監理体制を考へ、スバ同様に本拠を置く会社である。

指名業者

1. Grayburn Construction Ltd.
2. Equipment Services Ltd.
3. Burgess (Fiji) Ltd.
4. D Narayan Industries Ltd

(4) 指名通知

これまでの経過を吉田所長(JICA Fiji 事務所)に報告し了解を得た後、上記4社に対する指名通知書を作成し、8月24日(水)に通知を行った。

(5) 現場説明/入札書類配布

事前に吉田所長に入札書類一式の提示、説明を経て了承を得た上で 8月25日(木)、JICA 事務所において現場説明及び入札書類の配布を行った。

その方式としては、工事主旨の説明及び業者の実情を確認するため各社毎にインタビュー方式とした。但し4社のうち D Narayan Industries Ltd は来所しなかった為辞退扱いとした。

(6) 今後の見通し

1週間の応札期間後の9月初旬には契約業者を
確定できる見通しである。

→ Bid Documentの一部を添付資料として以降に付した。

2. 現地調査期間の変更

今回工事(圃場管理施設工事を除く)が11月中に
完了する様十分な施工監理体制を敷く事から
業務従事者(坂梨良介、岩井功)の現地調査期間
を以下の様に変更するため吉田所長宛その変更願
を提出した。

	S.63年 8月	9	10	11	12	S.64年 1月	2	当初 日数	変更(案) 日数	
坂梨良介								60日	120日	
岩井功									180日	120日
		圃場工事				圃場管理 施設工事				
	契約業務	施工管理業務						計 240日 → 240日		

==== : 当初, ——— : 変更(案)

尚、本案では現地調査期間の総計に変更はなく、
又両者の格付が同じな為契約金額の変更も
生じない。 → 変更願(提出書類)を添付資料
として付した。

3. 圃場管理施設の計画見直し

Fiji側より JICA 宛要望のあった圃場管理施設の
計画変更に関しては、Fiji側の希望を受け入れる事と
し、後日に建設位置及び建物規模の再検討を
実施する事とした。但し、設計変更等で経費を要す

場合には 予備費を一部流用する。

従って、9月上旬より開始予定の工事にはこの圃場管理施設の工事は含まず、別途契約の方針とした。
(この件に関しては 吉田町長、渡辺リーダに了解済)

尚、計画見直し作業は契約業務の終了した9月上旬より開始する予定であり、日本人専門家及びFiji側関係者と十分協議を経て作業を実施する。

4. 来月の予定

応札した社に対し優先順位を付け、早速ネゴを開始する。9月才又週目には契約完了出来る見込みである。工事開始後は9月5日到着予定の岩井功とともに施工監理業務を開始する。

尚、圃場管理施設についても計画変更作業を日本人専門家等との協議に基づいて開始する。

5. 業務日誌

昭和63年8月分の業務日誌を以下に付した。

6. 添付資料

業務報告の参考資料として以下のものを添付した。

- ① Bid Document (抜粋)
- ② 業者への指名通知書
- ③ 現場説明会出席者リスト
- ④ 現地調査期間の変更願 (Copy)

5. 業務日誌

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業務日誌 (その1)

(昭和63年 8月 4日 ~ 8月 7日分)

施工管理業務担当: 坂梨 良介

月日	主 要 業 務 動 向
/	
(月)	
/	
(火)	
/	
(水)	
8/4 (木)	(移動日) JL 双1 便にて成田発 (機中泊)
8/5 (金)	(移動日) JL 双1 便にてシドニー着 (シドニー泊)
8/6 (土)	(移動日) QF 93 便にて シドニー発 ナンディ着, FJ 双13 便にて ナンディ発 ナウソリ着, 車にて ナウソリ 空港 → スバ移動
備	
考	8/7 (日) 渡辺リザーと打合せ

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業務 11 日誌 (その2)

(昭和63年 8月 8日 ~ 8月 14日分)

施工管理業務担当: 坂梨 良介

月日	主 要 業 務 動 向
8/8 (月)	稲作チーム表敬及び打合せ。JICA事務所(吉田所長, 水落氏)表敬。日本大使館(植島書記官)表敬。D&I Div. (Mr. Nath) 表敬。作業計画書作成。
8/9 (火)	KRS (Mr. Sivan) 表敬。吉田所長と作業内容等について報告, 打合せ。MPI (Yarrow 次官, J. Dewan 次官補) 表敬
8/10 (水)	(本日より D&M Div. にて作業開始)。D&I Div. 内表敬。Mr. Swami (Act. Principal Engineer), Mr. Datt (Senior Engi.) と作業計画に関し打合せ
8/11 (木)	Bid Document 組み替之作業 (所定方式に変更)。
8/12 (金)	Bid Document 組み替之作業 継続。
8/13 (土)	工事予定地 (Nausori, Navua) 視察。
備考	注) D&I Div = Drainage and Irrigation Division (排水かんがい部) KRS = KORONIVIA Research Station (コロニビア試験場) MPI = Ministry of Primary Industries

8月14日(日) 休日

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業務日誌 (その3)

(昭和63年 8月15日 ~ 8月21日分)

施工管理業務担当: 坂梨 良介

月日	主要業務動向
8/15 (月)	B.Q. (Bill of Quantities / 工事費積算書) 組替之作業。 Mr. Vasudewan (Navua ADP office) と Navua 地区に関し 打合せ。
8/16 (火)	B.Q. 及び 工事単価等について Mr. Alex (Navua Project Engineer) と打合せ。 B.Q. 作成作業継続。
8/17 (水)	B.Q. 及び 工事費に関し Mr. Swami, Mr. Alex と打合せ。 Mr. Alex と Navua 工事予定地 及び Navua Project 視察。
8/18 (木)	B.Q. に関し Mr. Alex と最終打合せ。 Navua 地区計画に関し 来所農民と協議, 打合せ。 吉田所長に 作業進捗状況報告 (渡辺リダ-にも報告)
8/19 (金)	B.Q. を 7-700 入力。 Navua 地区行 / 計画変更ヶ所の 地元説明。
8/20 (土)	B.Q. の 7-700 入力 及び 編集
備考	注) ADP = Agricultural Development Project 8月21日(日) Bid Document 作成

業 務 日 誌 (その4)

(昭和63年 8月22日 ~ 8月28日分)

施工管理業務担当: 坂梨 良介

月日	主 要 業 務 動 向
8/22 (月)	Bid Document 作成作業継続。 指名業者に関し Mr. Alex と打合せ。
8/23 (火)	Bid Document 作成作業継続。 指名通知書作成 (Type 後 所長 sign)。 本業務の現地調査期間の変更願を吉田所長に提出
8/24 (水)	Bid Document Copy 製本 (5部用意)。 吉田所長に状況報告。 指名業者(4社)に対し指名通知。
8/25 (木)	指名業者4社に対し現場説明会を JICA 事務所 下実施 (内1社は辞退)。
8/26 (金)	O&I Div 関係者に現況状況報告。 契約関連状況報告書 (月報) 作成。
8/27 (土)	月報作成 継続
備 考	8A28日 (日) 休日

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務


業務日誌 (その5)

(昭和63年 8月29日 ~ 8月31日分)

施工管理業務担当: 坂梨 良介

月日	主要業務動向
8/29 (月)	指名業者 (Burgess Ltd.) の要請により Nausori 地区の 現場案内。 日報作成作業継続。
8/30 (火)	指名業者 (Burgess Ltd.) の要請により Navua 地区の 現場案内。 日報作成作業継続。
8/31 (水)	日報作成作業及び工事諸費精算作業。 (本日 入札締切日 / 2社応札, 残り1社も近日中に応札)
/ (木)	(注) 参照
/ (金)	
/ (土)	
備考	(注) 入札締切日を 8月31日に設定していたが, Grayburn Const. 社からは決裁者 (本部) が ニュージーランド に居るため 若干の余裕日数を見てくれとの要望が 現説時 にあったので了承している。

文書受付

事業団本部			プロジェクト		
部長	課長	担当	リーダー	調整員	報告者
					坂梨

業務状況報告書

(昭和63年9月分)

発行番号()

発行日 63年10月 日

国際協力事業団

総 裁 殿

フィジー国稲作研究開発パイロット

プロジェクト名 インフラ整備事業施工管理業務

担当者 岩井 功

坂梨 良介

件名：フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備
事業施工管理業務の昭和63年9月分業務
報告書の提出に関して

上記業務の昭和63年9月分業務報告書を
以下の内容で提出致します。

御査収の程 宜しく お願い致します。

(内容)

1. 契約業務経過
 2. 施工管理業務状況
 3. 来月(10月)の工事予定
 4. 圃場管理棟の計画見直し状況
 5. 現地調査期間の変更
 6. 業務日誌 (坂梨 岩井)
- 又 添付資料

以上

1. 契約業務経過

(1) 応札結果

3社目の応札書類が9月2日(金)に届いた。開封の結果以下の結果が得られた。これらの状況を吉田 JICA 所長に報告し、9月5日(月)から「優先順位」1位の業者と契約ネゴを開始する旨の了解を得て業者に通知した。

業者名	応札金額	優先順位
Grayburn Construction Ltd.	F\$ 411,225. ⁷⁶	2
Const. Equipment Hire Ltd.	F\$ 266,569. ⁰⁰	1
Burgess (Fiji) Ltd.	F\$ 421,723. ⁰⁰	3

(当方設定金額) F\$ 290,100.⁰⁰

* 尚、以上の金額には圃場管理施設工事費は含まれていない。

(2) 契約ネゴ

契約ネゴは各工事、工種に関しその内容の確認を基に各工事単価の妥当性をチェックした。この過程において Const. Equipment Hire Ltd. の B.Q. (応札書) 内で コンクリートパイプを JICA 側からの貸与資材と解釈している事が解った。(原因は B.Q 表現の解釈の相違による。) パイプの資材費は約 F\$ 10,000 であり、これを加えても優先順位に影響を及ぼさな、事からこの金額の支払いを認めた。但し、応札書自体の金額は変えず Variation Order (数量変更書) で処理する方針とした。他の事項については全て合意に達したので Const. Equipment Hire Ltd. を契約業者と認定し、所定の書類が提出され次第契約の運びとした。

(3) 契約締結

工事着工前に提出すべき所定の書類（銀行保証書、対第三者保険契約書等）が業者より提出されたのを確認した上で、9月9日（金）に JICA 事務所において 吉田所長（発注者）と Mr Pillay（受注業者 / Const. Equipment Hire Ltd.）の間で契約書の調印が実施され契約が成立した。尚 渡辺リーダー（稲作チーム）に立会人として出席願った。

2. 施工管理業務状況

契約後準備期間（14日以内）を経て ナウソリ、ナブア両地区に機械、資材等が搬入され工事が開始された。両地区の工事状況は次の通り。

< Nausori 地区 > : 坂梨担当

9月16日（金）より建設機械等が現地に搬入され、9月19日（月）の工事開始セルモニーを経て工事開始した。工事は計画地区南東部の区開工から始め、次に排水路の掘削と除草工（表土掘り）を開始した。現在除草工をブルドーザー3台で、また排水路（No.3）掘削も掘削機で継続中である。工事は順調に進んでいる。

< Navua 地区 > : 岩井担当

9月21日（水）に地元説明会を行ない、翌22日（木）より工事開始した。まず No.34 圃区の表土ハギり始め、この約10cmの表土を各耕区の中央に集積する作業を No.28-3, No.29-3, No.33-5, No.34-5 を除く耕区について28日までに終了した。前記4耕区は

地盤が軟弱なため排水路掘削後、圃場の干田化を待て実施する予定である。

3. 来月(10月)の工事予定

< Nausori 地区 > : 坂梨担当

掘削継続中の排水路 No.3 に続き、排水路 No.1、No.2 の掘削に移る。また道路盛土及び圃場レベルিং工事を開始する。圃場排水口や水路横断工等のコンクリート構造物には、工期の短縮を計るため事前に製造しておく Pre-Cast 方式を採用するが、これらの構造物の製作を始める。

< Navua 地区 > : 岩井担当

排水路 No.1 ~ No.7 の掘削後、各耕区のレベルング工事を開始する。また、均平作業と平行して道路、用水路の盛立工を実施する。コンクリート構造物の製作も開始する予定である。

4. 圃場管理棟の計画見直し状況

圃場管理棟については渡辺リーダ(稲作チーム)が「建設地実をコロニビア試験場内に変更する」との指示を受けその建屋計画の再検討を開始した。建設場所としては試験場内の plant Protection Laboratory House (新築建屋に9月中に移転予定)ヶ所とし、測量を実施した結果でもスペースに問題なからたのでこの地実を建設地実として決定した。

建屋の形状検討は日本人専門家との協議を基に概略を決定した後、詳細設計を Begg Const. Ltd

(KRSでの建屋工事の実績有)に依頼した。

後日, Begg Const. Ltd. より設計図及び見積工事費が提出された。その内容を検討した結果, 妥当であると判断したのでこの計画案により契約を進める事とした。また, 事前に MPI (オーストラリア産産省) の工事認可が必要と解り, 必要書類を至急揃えて提出する事とした。尚工事開始は移転の関係で10月中旬頃より開始し3ヶ月後に完成の予定である。

5. 現地調査期間の変更

8月23日に提出した現地調査期間の変更(願)書類が不備との指示に基づき, 9月14日に再度申請書を作成し, 3度目リーダー宛提出した。しかしこれについても不備との連絡が屈き, その対応に苦慮していた。

幸にして, Fiji 側の Project Head である John Deiva 農業局長より坂梨, 岩井の現地調査期間の変更要請があった(9月29日)のと, JICA 本部からも変更を認める旨の通達が届いた(9月30日)ので何とか変更が成立した次第である。

6. 業務日誌

坂梨良介と岩井功の業務日誌を以下に添付した。

7. 添付資料

応札結果表, 契約書, 工事開始許可通知及び工事写真等を資料として添付した。

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業 務 日 誌

(昭和63年 9月 1日 ~ 9月 4日分)

(契約業務, Nausori 地区担当)

施工管理業務担当: 坂梨 良介

月日	主 要 業 務 動 向
/	
(月)	
/	
(火)	
/	
(水)	
9/1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8月分業務月報作成
(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 吉田JICA所長に状況報告
<キリ	<ul style="list-style-type: none"> ・ KRSの渡辺リーダーに状況報告及び月報提出
9/2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応札書(3社目)受取後、応札結果を基に今後の方針を吉田所長に説明し了承を得た。→ 来週より着札の会社と本格開始
(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応札結果をD&I Div. 担当者に報告、今後の手続等確認
<キリ	
9/3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応札書の工事単価、金額等のチェック実施
(土)	
<キリ	
備	KRS: Jロ=ピア試験場
考	9月4日(日) 休 日

業 務 日 誌

(昭和63年 9月 5日 ~ 9月 11日分)

施工管理業務担当: 坂梨 和介

月日	主 要 業 務 動 向
9/5 (月) <朝/雨	<ul style="list-style-type: none"> 1番札の会社と契約ネゴ実施 (JICA事務所にて)。 → パワー費用を別途見る 矣以外 総て合意に達した。 1番札業者への通知書類作成。岩井 出迎之
9/6 (火) <朝/雨	<ul style="list-style-type: none"> 1番札の会社への契約内諾書発行。 → 銀行保証, 第三者保険の手配等指示 (書類揃った後調印実施)。 岩井に 契約状況等説明
9/7 (水) 雨	<ul style="list-style-type: none"> 現場事務所, 車, ドライバー等の手配。 現地測量基図の作成及びベンチマーク(基点)の確認
9/8 (木) <朝	<ul style="list-style-type: none"> 契約書調印準備 1番札2番, 3番業者への不採用通知書作成
9/9 (金) 晴	<ul style="list-style-type: none"> 契約書調印式 (JICA事務所にて 午前11時より実施) 不採用通知発行。 KRSに3度江リ-ダーを訪ね 今後の予定等報告
9/10 (土) <朝/雨	<ul style="list-style-type: none"> 契約書の最終確認実施
備 考	<p>契約業者: Construction Equipment Hire Ltd.</p> <p>9月11日(日) 木 日.</p>

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業務日誌

(昭和63年 9月12日 ~ 9月18日分)

施工管理業務担当: 坂梨 良介

月日	主要業務動向
9/12 (月) <割/雨	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライバーと労働内容等について打合せ及びレマカー調達 ・圃場管理棟に関し 建築業者と打合せ。 ・KRSにて 圃場管理棟の計画位置確認。
9/13 (火) <割	<ul style="list-style-type: none"> ・圃場管理棟計画地奥の平面測量実施及び 建築業者と現場打合せ。
9/14 (水) 晴	<ul style="list-style-type: none"> ・圃場管理棟計画地奥の平面図トス。及び建物の配置計画検討
9/15 (木) 晴	<ul style="list-style-type: none"> ・圃場管理棟の形状及び工事計画について打合せ。 ・ナウソリ地区踏査 ・吉田所長に状況報告及び契約所コピー配布
9/16 (金) 晴	<ul style="list-style-type: none"> ・圃場工事業者と工事計画について詳細打合せ * Nausori 地区に工事用重機搬入 / (明曜日の工事開始を以て一筆配) ・3度辺リ-ダ-に状況報告及び契約所コピー配布
9/17 (土) 晴	<ul style="list-style-type: none"> * Nausori 地区へ工事用資機材の搬入継続
備考	<p>建築業者: Beggs Construction Ltd. (圃場管理施設)</p> <p>9月18日(日) 休日</p>

業務日誌

(昭和63年 9月19日 ~ 9月25日分)

施工管理業務担当: 坂梨 良介

月日	主要業務動向
9/19 (月) 晴	<ul style="list-style-type: none"> ・ Nausori 地区で 工事開始セレモニー開演 / 伐開工開始 ・ 地区の計画概要を現地説明. 測量担当に測量基図配布. ・ 建築業者と建物の材料, 構造 工事費について打合せ.
9/20 (火) 曇	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伐開工継続 (ブルドーザー 3台) ・ 道路, 水路, 畦畔の中心線等確認. ・ Navua 地区で 計画概要の現地説明実施.
9/21 (水) 曇	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伐開工継続 (ブルドーザー 3台) ・ Navua 地区の地元説明会に出席
9/22 (木) 晴	<ul style="list-style-type: none"> ・ C&I Div と Navua 地区の関連工事事項について打合せ ・ 伐開工継続 (ブルドーザー 3台) ・ 建物の契約書形式について 建築業者と打合せ.
9/23 (金) 曇	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伐開工継続 (ブルドーザー 3台) ・ 建物の契約書 (ドラフト) 作成.
9/24 (土) 雨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伐開工継続
備考	9月25日(日) 休日

業 務 日 誌

(昭和63年 9月26日 ~ 9月30日分)

施工管理業務担当: 坂梨 良介

月日	業 務 動 向
9/26 (月) 晴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伐開工継続 (ブルドーザ3台) ・ KRS行 / 渡辺リーダに状況報告及び建物について最終打合せ後 Fij側(KRS)に計画説明
9/27 (火) くち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 除草工及び一次レベルリング工開始 (ブル2台) ・ 排水路 No.3 掘削開始 (掘削機1台, ブル1台)
9/28 (水) 晴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 除草工及び一次レベルリング工継続 (ブル3台) ・ 排水路 No.3 掘削継続 (掘削機1台)
9/29 (木) 晴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 除草工及び一次レベルリング工継続 (ブル3台) ・ 排水路 No.3 掘削継続 (掘削機1台) ◎ 岩井, 坂梨の現地調査期間変更に関し MPI次官補より承得た。
9/30 (金) 晴	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 吉田所長に工事状況報告 (JICAからの現地調査期間変更に関する承認書受領) ・ 除草工, 一次レベルリング工, 排水路 (No.3) 掘削工継続
/ (土)	
備 考	

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業務日誌 (その1)

(昭和63年 9月3日 ~ 9月4日分)

施工管理業務担当: 岩井 功

月日	主要業務動向
/	
(月)	
/	
(火)	
/	
(水)	
/	
(木)	
/	
(金)	
9/3 (土)	(移動日) JL771便にて成田発 (機中泊)
備 考	9/4 (移動日) JL771便にてシドニー着 (日) (シドニー泊)

フィジー国橋作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業務日報 誌 (その2)

(昭和63年 9月5日 ~ 9月11日分)

施工管理業務担当: 岩井 功

月日	主 要 業 務 動 向
9/5 (月)	(移動日) QF93便にてシドニー発 ナンティ着 FJ139便にて ナンティ発、ナウソリ着 車にてナウソリ空港 → スバ移動
9/6 (火)	JICA事務所(吉田所長)表敬、日本大使館(西村参事官 植嶋書記官)表敬、橋作チーム表敬、KRS (Mr. Sivan) 表敬、D & I Div. (Mr. Nath) 表敬
9/7 (水)	坂梨と作業計画に關しFT合せ Bid Document BU B/Q 4エツ7
9/8 (木)	Bid Document BU B/Q 4エツ7
9/9 (金)	JICA officeにて工事契約 Nausori 地已視察。
9/10 (土)	Navva 地已視察。
備 考	9/11(日) 休日

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業務日誌 (その3)

(昭和63年 9月12日 ~ 9月18日分)

施工管理業務担当: 岩井 功

月日	主要業務動向
9/12 (月)	KRSにて Storage House 157117 渡辺リ-7-130 増見氏と IT合せ. Nausori ADP office (Mr. Nair, Mr. Samusoni) 表敬.
9/13 (火)	KRS Storage House 予定敷地測量 JICA office にて 畠田所長と 派遣期間変更申請書につ いて IT合せ.
9/14 (水)	派遣期間変更申請書の作成
9/15 (木)	KRS 渡辺リ-7-130 に 派遣期間変更申請書提出 Nausori 地色踏査
9/16 (金)	Navua 地色踏査. B/M B/W 仮 B/M の確認
9/17 (土)	内業 (工事工程の検討)
備 考	9/18(日) 休日.

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業務日報 (その4)

(昭和63年9月19日 ~ 9月25日分)

施工管理業務担当: 岩井 功

月日	主 要 業 務 動 向
9/19 (月)	Nausori 地 区 地 区 説 明 フルド-サーによる伐'南南始
9/20 (火)	Nausori 地 区 地 区 境 界 の 確 認
9/21 (水)	Navua 地 区 地 区 説 明
9/22 (木)	Navua 地 区 No.34 No.35 圃 場 の 表 土 11 寸
9/23 (金)	Navua 地 区 No.36 表 土 11 寸
9/24 (土)	降 雨 に 由 り 工 事 中 断
備 考	9/25 (日) 休 日

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務


業 務 日 誌 (その5)

(昭和63年 9月26日 ~ 9月30日分)

施工管理業務担当: 岩井 功

月日	主 要 業 務 動 向
9/26 (月)	Navua地已 No.30, No.31 圃已表土ハキ
9/27 (火)	Navua地已 No.28, No.29 圃已表土ハキ
9/28 (水)	Navua地已 No.32 圃已表土ハキ
9/29 (木)	Navua地已 降雨により工事中断
9/30 (金)	Navua地已 仮排水路掘削による圃場内排水指示
/	(土)
備 考	

文書受付

事業団本部			プロジェクト		
部長	課長	担当	リーダー	調整員	報告者
				垣見	坂梨

業務状況報告書

(昭和63年10月期分)

発信番号()
発信日 63年11月 日

国際協力事業団
総 裁 殿

プロジェクト名 フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務
 担当者名 岩井 功
坂梨 良介

件名：フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務の昭和63年10月分業務報告書の提出に関して

上記業務の昭和63年10月分業務報告書を以下の内容で提出致します。
 御査収の程宜敷くお願い致します。

(内容)

1. 施工管理業務状況
 - (1) ナブア 地区 (岩井担当)
 - (2) ナウソリ 地区 (坂梨担当)
2. 来月(11月)の工事予定
3. 圃場管理棟工事契約及び施工管理状況
4. 業務日誌 (岩井, 坂梨)
5. 添付資料

1. 施工管理業務状況

(1) ナブア地区 (岩井担当)

・排水路掘削

10月3日より1号排水路の掘削を開始し、6号排水路、7号排水路、3号排水路、2号排水路の順に掘削を実施した。2号排水路では、No.28農家の要望により路線の変更を行った。

1号排水路及び3号排水路の一部において法面の崩壊が生じているが最終仕上りの段階で修築する予定である。

・圃場均平

10月前半は毎日の降雨のため、圃場均平作業は実施できなかったが、7月後半以降圃場の乾燥を待って、No.32-4、No.33-4、No.36-4、No.36-5、No.35-1、No.35-2、No.28-1、No.29-1の圃場均平作業を実施した。圃場均平と平行して各圃場圃の畦畔の築造も実施した。

・道路工

1号道路、2号道路、3号道路、4号道路の盛土工を圃場均平に先立って実施した。

・附属工

排水路横断の pipe culvert を設置した。φ600×4ヶ所、φ1200×1ヶ所、inlet work の型枠(鋼製)の作成。

(2) ナウソリ地区 (坂梨担当)

① 圃場レベルリング工 (進捗率 80%)

表土ハギ/除草工を含めた1次レベルリング工(荒仕上げ)を全plotについて完了した後引き続き2次レベルリング(最終仕上げ)を開始した。10月末段階で全27plotのうち17plotで2次レベルリングを完了している。

② 排水路工 (進捗率 60%)

排水路No.3の掘削に続いて排水路No.1, No.2の掘削を開始した。月末段階でNo.3の下流端(川近く)の約40mの掘削を残すのみである。

③ 排水路横断工 (進捗率 40%)

- 排水路掘削後 PC-1, PC-2, PC-3の水路横断工設置を開始した。基礎工に続いてコンクリートパイプを据え付けた。尚パイプ両端のHead Wall工事(土留め壁工事)を追加工事で発注した。
- B-1, B-2, B-3については、フィジ同標準タイプの導入と工事期間の短縮を図るための現場打カルバートから既製のコンクリートパイプφ1,200mmの使用に変更した。月末段階でB-1, B-2地塊の基礎杭打設が終了している。

④ 道路工 (進捗率 50%)

圃場レベルリング工と平行して道路盛立が進んでいる。月末段階でNo.1の1次盛立が未収穫のキャサバ畑に掛る地塊を除いて完了している。No.2の1次盛立は既に完了している。

3. 来月の工事予定 ① プラ地区

・排水路

- ・ 5号排水路及び1号排水路の一部掘削と4号排水路(既設排水路)の法面整形
- ・ 排水路の法面整形及び排水路両側の畦畔の築造

・圃場均平

- ・ No.32, No.33, の畦畔築造及び圃場均平
- ・ No.28-2, 3, No.29-2, 3, No.30-2, No.31-2, No.34-3, 4, No.35-3, 4, No.36-1~3, No.36-6, の圃場均平

・道路工

No.34, No.35 圃場の道路 7号道路の盛土工

・用水路工

1号~3号用水路及び6号用水路の盛土工及び掘削

・付帯工

- ・ 排水路横断 culvert lining の設置
- ・ inlet 及び outlet work の構築物の作成
- ・ 用水路の道路横断部 pipe 設置

(2) ナウソリ地区

① 圃場レベルング工

残りの 10 plot に対する 2次レベルングを完了させ、並行して進めている測量によるレベルチェックを行ない、問題なければ表土戻しと畦畔盛立を開始する。

尚、レベルチェックは plot 内に 10m 間隔のメッシュを組み交差の標高測量により行う。

② 排水路工

No. 3 の残り 40m の掘削を実施するとともに、全路線の路肩整形を開始する。この工事はフルドーザーと掘削機により進める。

③ 排水路横断工

- PC-1, -2, -3 でのパイプ据付に続いて Head Wall (土留の壁) の設置を開始する。

- B-1, B-2, B-3 については杭打設、基礎コンクリート打設に続いてパイプ据付を行う。同様に Head Wall 工事も実施する。

④ 道路工

道路 No. 1 の盛立工が未完成 (収穫前の畑のため) の区間の盛土工を終了し全線の転圧を開始する。

必要な転圧、整形を経て砂利舗装を開始する。

⑤ チェックゲート工

排水路 No. 1, No. 2 に設置されるチェックゲート工事は隣接する排水路横断工 B-1, B-2 の Head Wall の工事と同時に行う。

⑥ 排水口工事

プレキャストによる Box 部の製作の後据付を開始する。

(2) 施工管理業務状況

工事は建築予定地の既存建屋 (Plant Protection Labo.) の移転を待って開始された。当初この移転は10月中旬頃に完了する予定であったが、遅れたため工事を開始出来たのは10月27日からであった。

工事は月末段階で芯出しによる建物位置の確定を行ない、基礎部の掘削を進めているところである。

(3) 来月の工事予定

基礎部掘削後、基礎工設置として鉄筋配置、コンクリート打設を開始する。

床面高までの基礎工終了に続いて床コンクリート打設及び壁面ブロックの積上を開始する。

尚、室内の部屋割等については稲作チーム側と最終協議を行なう。

※ 建物の契約書の抜粋を添付資料に付した。

2. 圃場管理棟工事契約及び施工管理業務状況

(1) 圃場管理棟工事契約経過

フィジー側に建築申請書類を提出し 10月7日にその許可を得たので、建築業者に指名通知を行なった。業者には本建物の設計等を依頼していた Begg Construction Ltd. (コロニア試験場で建築の実績あり) を指名し、見積り合せによる入札型式を採用した。

10月11日に Begg Construction Ltd より 応札書が提出され、当方の予定価格と比較したところ妥当と判断されたので、同日 吉田所長と Alim Begg 氏 (業者) の間で契約が締結された。

契約の概要は次の通りである。

- 契約金額 : F\$ 50,000 -
- " 期間 : N.63年10月13日 ~ 64年12月13日
- 建物規模 : 15.35m x 8.30m 2階建
- " 構造 : コンクリート柱及びブロック積構造

注) 契約金額が実施設計調査時の積算工事費 (F\$36,000) と比べて約 F\$14,000 高くなったが、本来この工事も今回のパイロットインフラ整備工事の一部であり、先に発注した圃場整備工事の金額が入札により安く契約出来た分 (約 F\$98,000) を甚力案しても建物の超過工事費分は当初予定の総工事費内に十分納まる事から問題なしとした。

但し、工事費増の原因は稲作チームからの要望を取り入れた (JECA本部は了解済との事であった) ため建物の形状及び構造が大きく変更した為である。

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業 務 日 誌

(昭和63年 10月 1日 ~ 10月 9日分)

施工管理業務担当: 岩井 功

ナブナ地区

月日	主 要 業 務 動 向
10/3 (月)	K.R.S. さま稲作チームと打合せ. 1号排水路掘削開始
10/4 (火)	1号排水路掘削
10/5 (水)	1号排水路掘削
10/6 (木)	1号排水路掘削 6号排水路掘削開始
10/7 (金)	6号排水路掘削
10/8 (土)	7号排水路掘削
備 考	10/9(日) 休日 10/1(土) 地区内仮排水路掘削 10/2(日) 休日

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業 務 日 誌

(昭和63年 10月 10日 ~ 10月 16日分)

施工管理業務担当: 岩井 功

ナブア地区

月日	主 要 業 務 動 向
10/10 (月)	7号排水路掘削 1号排水路掘削
10/11 (火)	倉庫建物契約 1号排水路掘削
10/12 (水)	1号排水路掘削
10/13 (木)	3号排水路掘削
10/14 (金)	3号排水路掘削 2号排水路中心線確定
10/15 (土)	3号排水路掘削 2号排水路敷床均し
備 考	10/16(日) 休日

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業 務 日 誌

(昭和63年 10月 17日 ~ 10月 23日分)

施工管理業務担当: 岩井 功

ナブア地区

月日	主 要 業 務 動 向
10/17 (月)	2号排水路掘削 No.32-4圃場 1次均平作業
10/18 (火)	2号排水路掘削 No.32-4圃場 1次均平作業
10/19 (水)	2号排水路掘削 No.1 ~ No.3号道路盛土工
10/20 (木)	2号排水路掘削 No.33-4圃場畦畔盛土工 B/C 1次均平
10/21 (金)	KRS. 稲作チームと打合せ 2号排水路掘削 No.36-4圃場畦畔盛土工 B/C 1次均平
10/22 (土)	2号排水路掘削 No.36-5圃場 1次均平
備 考	10/23(日) 休日

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業 務 日 誌

(昭和63年 10月24日 ~ 10月31日分)

施工管理業務担当: 岩井 功

ナブナ地区

月日	主 要 業 務 動 向
10/24 (月)	大使館(植島氏)に作業状況報告 No.35-1 No.36-5 1次均平 既設排水路埋戻しBCU No.32 1次均平
10/25 (火)	2号排水路掘削 pipe culvert (φ1200×2) 設置 No.35-1 1次均平
10/26 (水)	pipe culvert (φ600×2) 設置 No.35-2 1次均平 No.31 道路盛土BCU 1次均平
10/27 (木)	pipe culvert (φ600×2) 設置 No.34 道路盛土BCU 1次均平 1号道路(北側)の掘削押土
10/28 (金)	pipe culvert (φ600×2) 設置 No.34 道路盛土BCU 1次均平 No.28, No.29 1次均平
10/29 (土)	5号排水路敷床均し No.28, No.29 1次均平 inlet workの型枠作成
備 考	10/30(日) 休日 10/31(月) 5号排水路掘削 No.28, No.29 1次均平 inlet workの型枠作成

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業務日誌

(昭和63年 10月 1日 ~ 10月 2日分)

ナウソリ地区 施工管理業務担当: 坂梨 良介

月日	主 要 業 務 動 向
/ (月)	
/ (火)	
/ (水)	
/ (木)	
/ (金)	
10/1 (土) 晴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 掘削機による排水路No.3の掘削継続 ・ 排水路No.1及びNo.2の水路敷設開工継続 (ブル1台) ・ 除草工及び「レベルリング」工継続 (ブル2台)
備 考	10/2 (日) 休日

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業務日誌

(昭和63年10月3日～10月9日分)

ナウソリ地区 施工管理業務担当: 坂梨良介

月日	主 要 業 務 動 向
10/3 (月) 晴	<ul style="list-style-type: none"> * 稲作チームの日本人専門家に工事状況報告 (コロビタ試験場) ○ 掘削機による排水路 No.3 の掘削継続 ○ レベリング工継続 (ブル3台) / plot 1-1, 2-6
10/4 (火) 晴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 排水路 No.3 の掘削継続 (掘削機) ○ レベリング工継続 (ブル3台) / plot 1-1, 2-1, 4-1
10/5 (水) 晴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 排水路 No.1 の水路敷整地 (ブル1台) / plot 3-5 の表土ハキ (ブル1台) ○ 排水路 No.3 の路肩盛土転圧 (ブル1台) * KRS に新設予定の圃場管理棟に関し研究部長 (MPI) と打合せ
10/6 (木) 晴	<ul style="list-style-type: none"> * 圃場管理棟の建築申請書資料を作成し研究部長に提出 ○ 排水路 No.1 の水路敷整地工継続 (ブル1台) ・排水路 No.3 の路肩形成工継続 (ブル1台) ・plot 1-4 のレベリング工 (ブル1台)
10/7 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 排水路 No.1 の水路敷整地工継続 (ブル1台) ○ 道路 No.1 の盛土工 (ブル1台) * 圃場管理棟工事契約書の最終原稿を吉田所長に説明
10/8 (土)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路 No.1 の盛土工継続 (ブル2台)
備 考	<p>KRS: コロビタ試験場, MPI: 第1次産業省</p> <p>10月9日(日) (休日)</p>

業 務 日 誌

(昭和63年 10月10日 ~ 10月16日分)

ナウソリ地区 施工管理業務担当: 坂梨良介

月日	主 要 業 務 動 向
10/10 (月) 曇り	(祝日につき休み)
10/11 (火) 晴	<ul style="list-style-type: none"> * 圃場管理棟工事の契約調印 (JICA事務所にて) * 圃場工事に関し施工業者と工程打合せ ・ 道路 No.1 の盛土工 継続 (ブル2台) 。コンクリートパイプ到着
10/12 (水) 晴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路 No.1 の盛土工 継続 (ブル2台) * 稲作チームの渡辺リーダーと宇田専門家が現場訪問された。
10/13 (木) 曇り/晴	<ul style="list-style-type: none"> ・ Plot 4-1 ~ 4-4 地先の表土ハギ/一次レベルリング開始 (ブル2台) ・ 道路 No.1 の盛土工 継続 (ブル1台)
10/14 (金) 晴	<ul style="list-style-type: none"> △ 圃場管理棟工事の現場打合せ。(注参照) ・ Plot 1-2, 2-1, 2-2 のレベルリング工事 (ブル3台) ・ 排水路 No.1 の掘削開始 (掘削機 1台)
10/15 (土) 晴	<ul style="list-style-type: none"> ・ Plot 2-1, 2-2 及び 3-4 のレベルリング工事 (ブル3台) ・ 排水路 No.1 の掘削継続 (掘削機 1台)
備 考	<p>圃場管理棟工事は Beggs Construction Ltd に発注 (注) 圃場管理棟工事には今週より着工の予定であったが 予定地の既存建物の移転が遅れているため 今月末より 工事開始の予定。</p>

10月16日(日) 休日

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業 務 日 誌

(昭和63年10月17日 ~ 10月23日分)

ナウソリ地区 施工管理業務担当: 坂梨 良介

月日	主 要 業 務 動 向
10/17 (月) 曇	<ul style="list-style-type: none"> Plot 1-1, 1-2 のレベルング工事 (ブル2台) 排水路 No. 1 の掘削継続 (掘削機1台)
10/18 (火) 曇	<ul style="list-style-type: none"> Plot 1-3, 1-4 のレベルング工事 (ブル2台) 排水路 No. 1 掘削継続 (掘削機1台) - 完了 * JICA 総裁がKRS を訪問された。
10/19 (水) 曇/雨	<ul style="list-style-type: none"> Plot 1-1, 1-3, 1-5 のレベルング工事 (ブル3台) 排水路 No. 2 の掘削開始 (掘削機1台) 排水路横断工 (PC-1, PC-2) 基礎工事継続
10/20 (木) 雨	<p>昨夜の大雨によりレベルング継続できず/仮排水路設置。</p> <ul style="list-style-type: none"> 排水路 No. 2 の掘削継続 → 午後より強雨のため中断
10/21 (金) 晴	<ul style="list-style-type: none"> KRSでの稲作チームミーティングで工事状況報告 排水路 No. 2 の掘削継続 (掘削機1台) 旧排水路の埋立て作業開始
10/22 (土) 曇	<p>雨のため土壌軟かく、工事中断 → 乾燥待</p>
備 考	<p>KRS : コロビア試験場</p> <p>10月23日(日) 休日</p>

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業 務 日 誌

(昭和63年 10月24日 ~ 10月30日分)

ナウソリ地区 施工管理業務担当: 坂 梨 良 介

月日	主 要 業 務 動 向
10/24 (月) 晴	<ul style="list-style-type: none"> *大使館の木直嶋書記官及び JICA 吉田所長に工事状況報告 水路横断工 (PC-1, PC-2, PC-3) 工事継続 掘削機により既存排水路の断面整形作業
10/25 (火) <朝/雨	<ul style="list-style-type: none"> 業者 (Mr. Pillay) と工程打合せ Plot 1-6, 1-7 のレベルリング工 継続 (ブル2台) 排水路 No. 2 の掘削 継続 (掘削機1台)
10/26 (水) 晴	<ul style="list-style-type: none"> Plot 2-2, 2-3 のレベルリング工 開始 排水路 No. 3 掘削 継続 排水路横断工 PC-1, PC-2, PC-3 の工事 継続
10/27 (木) <朝/雨	<ul style="list-style-type: none"> Plot 2-3, 2-5 のレベルリング工 継続 排水路横断工 工事 継続 圃場管理棟 工事 開始 (芯出し地)
10/28 (金) 晴<朝	<ul style="list-style-type: none"> Plot 2-5, 2-6, 2-7 のレベルリング工事 継続 排水路横断工 (B-1, B-2 地真) の杭打設工事 圃場管理棟 / 基礎フーチング部 掘削
10/29 (土)	<ul style="list-style-type: none"> Plot 3-6, 3-7 レベリング工事 排水路横断工 B-1 地真基礎工事 継続 圃場管理棟 / 基礎フーチング部 掘削 継続
備 考	<p>注) 圃場管理棟の建設地真はコロニビア試験場である。 (当初の Pilot 工事地真から変更となった。)</p> <p>10月30日(日) 休 日</p>

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務



業 務 日 誌

(昭和63年 10月 3 / 日 ~ 10月 日分)

ナウソリ地区 施工管理業務担当: 坂梨 良介

月日	主 要 業 務 動 向
10/31 (月) 晴/曇	<ul style="list-style-type: none"> Plot 3-6, 3-7 レベリング工事中。(ブル2台) 排水路横断工(PC-1, PC-2)の Head Wall 工事中 圃場管理棟 / 基礎部掘削 継続
10/ (火)	
10/ (水)	
10/ (木)	
10/ (金)	
10/ (土)	
備 考	

文書受付

	中 部	課 長	課 長	部 長	部 長	リ-ダー	アロジ-クト	アロジ-クト	アロジ-クト
									岩井

業務 情 況 報 告 書
(^S63年 11 月 分)

発信番号 ()
発信日 ^S63年 12月 日

国際協力事業団
総 裁 殿

フジ-国稻作研究開発パイロット

プロジェクト名 インフラ整備事業施工管理業務
担当者 岩井 功
坂梨 良介

件名： フジ-国稻作研究開発パイロットインフラ整備
事業施工管理業務の昭和63年11月分
業務報告書の提出に因して

上記業務の昭和63年11月分業務報告書を
以下の内容で提出致します。
御査収の程宜敷くお願ひ致します。

(内容)

1. 施工管理業務状況
 - (1) Tブア地区
 - (2) プラソリ地区
 - (3) 圃場管理棟
2. 採月(12月)の工事予定
3. 業務日誌
4. 添付資料

施工管理業務状況

(1) ナリア地色 (岩井担当)

① 排水路工

5号排水路及び1号排水路の一部の掘削を実施し、排水路の掘削作業は終了した。引継ぎ排水路沿の掘削工を利用して排水路沿の畦畔の整形作業を実施した。月末段階で排水路工は完了である。

② 圃場均平作業

11月前半も降雨の為 No.32-1 No.33-1 No.34-1.2 No.36-1圃場等の軟弱地盤耕区での均平作業は実施できなかったが、11月後半に好天が続き、同圃場の乾燥を待って軟弱地盤耕区での均平作業を終了した。比較的地盤の良好な他耕区に2112は一次均平作業の終了後表土もとしを実施し最終均平作業を実施した。

③ 用水路工

当初、用水路盛土は圃場土を使用する予定であったが、圃場土は粘性に富み用水路盛土として不適の為、近傍の山からの搬入土を使用することとした。搬入土は、15cmの盛之後、転圧する様指示し、1号、2号、3号、6号用水路及びCCA I-IVの一部の盛土を実施し、6号用水路より掘削を開始した。

4号、5号用水路は No.34 No.35農家の要望により区画変更を実施し、CCA I-IV、CCA I-III用水路より直接分水することにしたため、当計画からはずすこととした。

④ 道路工

No.34 No.35農家の要望により、圃場中央に南北に新設することとした。道路用土は圃場土を流用したが一部軟弱地盤では搬入土を利用せざるを得なかった。

月末段階では No.34圃場道路及び2号道路の一部を除き盛土は終了している。

④ 排水路横断工

1°17°設置の後 Head Wall の設置を実施した。

月末段階では 排水路横断工は完了している。

⑤ 附帯工

流入工及び流出工のプレキャストによる Box 部の製作を継続中
である。

(2) ナウソリ地区 (坂梨担当)

① 圃場レベルング工 (進捗率 95%)

- 残っていた 10 plot の 2 次レベルングが終了し、標高チェックで問題ない plot から表土戻し及び畦畔盛立工事を開始した。11 月末段階で全 plot の表土戻し工事を完了した。

② 排水路工 (進捗率 80%)

- 排水路 No. 3 の下流端 40m の掘削が終り、全路線の掘削が完了した。引き続き水路肩盛土の整形作業を開始している。月末段階で No. 2 の約半分の区間と No. 3 の圃場内区間 (約 300m) の整形作業が終了している。

③ 排水路横断工 (進捗率 90%)

- PC-1, PC-2, PC-3 の Head Wall (土留め壁) 工事及び埋戻し作業は完了した。
- B-1, B-2, B-3 についても Head Wall 工事と埋戻し作業まで終了している。
- 追加工事の B-4, B-5 については B-4 の埋戻し作業を残すのみである。
- 残作業として B-1 ~ B-5 の Lip Rap 工事が残っている。

④ 道路工 (進捗率 75%)

- 道路盛立は全線で完了している。月末段階では一部盛立不足区間の整形・修正と転圧後の表面の不陸整形を実施していると云う。

全体では 11 月末段階で約 90% の進捗状況にあり、あと 10 日程度で工事を完了できる見通しである。尚 坂梨帰国後は 岩井, Mr. Uma Datt (DR&I Div Engineer) が ナウソリ地区の工事監理を行う。

(3) 圃場管理棟工事

今月の工事としては基礎部へのコンクリート打設、
床コンクリートの打設、壁ブロックの積上げ及び
柱部(1階部分)のコンクリート打設まで完了した。
11月末段階では2階床部基礎の梁工事に
着手したと云うのである。

2. 来月の工事予定

(1) 工場の地盤

① 圃場均平作業

最終均平作業の実施

② 用水路工

3号用水路の盛土を継続し、盛土終了の用水路の掘削を実施する。引越し用水路横断工、分水工を実施する。

③ 道路工

No.34圃場道路及び7号道路の盛土を実施する。盛土後転圧をし、砂利舗装を行う。

④ Inlet工, Outlet工

圃場最終均平作業及び用水路の掘削後、inlet工、outlet工の設置を行う。

(2) ナウソリ地区

① 圃場レベルン工

- 表土戻しは完了しているが、若干大きな土塊が散見されるので表土乾燥後、ブルドーザーに付随して破砕を行なう。

② 排水路工

- 残っている区間の水路肩盛土の整形を行なう。

③ 排水路横断工

- B-4の埋戻し工及びB-1~B-5までのLip Raps工事を実施する。

④ 道路工

- 盛立不足部の追加盛立、転圧後砂利舗装を開始する。

⑤ チェックゲート工

- 排水路横断工(B-1, B-2)のHead Wall(完成済)に付随するチェックゲート工事を開始する。

⑥ アウトレット工

- フレキャストによるBox部の製作は完了しているのでパイプとともに据付工事を開始する。

ナウソリ地区の工事見通しとしては、12月10日頃までに全工事を終了出来る予定である。

(3) 雨場管理棟工事

- 梁工事に続いて 2階部の壁ブロック積上げ
及び屋根工事も開始する。

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業 務 日 誌

(昭和63年 11月 1日 ~ 11月 6日分)

施工管理業務担当: 岩井 功

月日	主 要 業 務 動 向
/ (月)	
11/1 (火)	5号排水路の掘削, 1号道路盛土 No.36圃場畦畔築造及び均平作業 2号排水路横断工(PC-3)壁作成
11/2 (水)	1号排水路掘削。(BH.2台使用) No.31圃場均平作業, No.36圃場畦畔築造及び均平作業 2号排水路横断工(PC-3)壁作成
11/3 (木)	No.28-1圃場均平作業, 2号排水路の畦畔築造 No.35圃場道路の盛土 2号排水路横断工(PC-4)壁作成
11/4 (金)	1号道路, 1号用水路盛土, 2号排水路の畦畔築造 No.35圃場均平作業, No.34圃場道路の盛土 2号排水路横断工(PC-4)壁作成
11/5 (土)	No.32-4, 5圃場均平作業 1号排水路横断工(34号, 35号圃場道路)の壁作成 6号排水路畦畔作成
備考	Inlet工, Outlet工の作成が10月末より継続している。 11/6(日)

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業 務 日 誌

(昭和63年 11月 7日 ~ 11月 13日分)

施工管理業務担当: 岩井 功

月日	主 要 業 務 動 向
11/7 (月)	No.35圃場及びNo.36圃場均平作業 1号, 6号排水路畦畔作成 1号排水路横断工(35号圃場道路)壁作成
11/8 (火)	No.32-5, No.34-1.2, No.32-5圃場均平作業 1号排水路畦畔作成 1号排水路横断工(34号圃場道路)壁作成
11/9 (水)	No.32-2.3圃場均平作業 1号排水路横断工(B-2, B-3)のφ1200 ^{mm} 18°設置 No.32-1, No.33-1圃場内仮排水路掘削
11/10 (木)	No.32-2.3, No.34-1.2圃場均平作業 1号排水路畦畔作成 1号排水路横断工(B-1)壁作成, 搬入土。表土11cm及び掘削
11/11 (金)	No.33-1.2圃場均平作業 3号排水路畦畔作成 1号排水路横断工(B-1)壁作成
11/12 (土)	No.35-1.2, No.36-2.3.4均平作業(表土もどし) 2号排水路畦畔作成 1号排水路横断工(B-1)壁作成
備 考	用水路及び圃場土が道路盛土に適さない区間については、 搬入土によることとした。 11/13(日)休日

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業 務 日 誌

(昭和63年11月14日～11月20日分)

施工管理業務担当： 卷井 功

月日	主 要 業 務 動 向
11/14 (月)	No.32-4.5. No.33. No.34. No.35 圃場表工もとし 6号用水路盛土 1号排水路横断工(B-2) 壁作成
11/15 (火)	No.30-3. No.31-2 圃場表工もとし 2号排水路畦畔作成 1号排水路横断工(B-2) 壁作成
11/16 (水)	No.28-1 No.29-1. No.30-1 圃場表工もとし 6号用水路盛土 1号排水路横断工(B-2) 壁作成
11/17 (木)	No.36. No.33 圃場均平作業 1号用水路盛土. . . 3号排水路畦畔作成 1号排水路横断工(B-3) 壁作成
11/18 (金)	No.28-1. No.29-1 圃場均平作業 2号用水路盛土. . . 3号排水路畦畔作成 1号排水路横断工(B-3) 壁作成
11/19 (土)	雨の為均平作業中止 1号排水路畦畔作成
備 考	11/20(日) 休日

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業 務 日 誌

(昭和63年 11月21日 ~ 11月27日分)

施工管理業務担当: 峯井 功

月日	主 要 業 務 動 向
11/21 (月)	No.31, No.33-1.2 圃場均平作業. 2号用水路盛土. 1号排水路横断工(B-3)壁作成 JICA 吉田所長と打合せ
11/22 (火)	No.34-1.2, No.33-4.5 圃場均平作業. No.34圃場道路盛土. No.6用水路盛土及び転圧. 1号排水路横断工(B-3)壁作成
11/23 (水)	No.35-1, No.36-1.2 圃場均平作業. CCR I-II用水路横断工壁作成
11/24 (木)	No.29-3, No.34-3, 4 圃場均平作業. No.32圃場畦畔の転圧. 1号用水路分水工作成
11/25 (金)	No.29-3, No.30-2, No.34圃場均平作業. 2号, 6号用水路盛土. 1号用水路分水工作成
11/26 (土)	No.32-1.2 圃場均平作業. 6号用水路盛土.
備 考	11/27(日) 休日.

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業務日誌

(昭和63年 11月28日 ~ 11月30日分)

施工管理業務担当: 岩井 功

月日	主要業務助向
11/28 (月)	6号, CCa I-IV用水路盛土, 5号排水路畦田平作 No.29-3, No.32-1,2, No.34-1,2 圃場均平作業, 2号用水路分水工 Nausori RZ 工事検査 作成
11/29 (火)	CCa I-IV用水路盛土, 6号用水路堰削 No.33-1,2, No.34-1,2, No.35-1,3 圃場均平作業 2号用水路分水工作成
11/30 (水)	CCa I-IV用水路盛土, 6号用水路堰削 No.29-1,3, No.30-2, No.31-2, No.36-6 圃場均平作業 坂我利 Nausori 地区の引継ぎ (坂我 帰国)
/ (木)	
/ (金)	
/ (土)	
備 考	

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業 務 日 誌

(昭和63年 11月 1日 ~ 11月 6日分)

ナウソリ地区 施工管理業務担当: 坂梨 長介

月日	主 要 業 務 動 向
/	
(月)	
11/1 (火) 晴/雨	・B-3地先の基礎杭打設。PC-14PTのHead Wall 工事。BC-14PTの基礎コン打設。plot 3-1の均平工 (建物) フーチング部及び柱部の鉄筋組立・据付
11/2 (水) 曇/雨	・plot 3-4 ~ 3-7 及び 1-1の均平工。PC-1, PC-3のHead Wall工事。B-1の基礎工 / D&I DIV 部長 現場視察 (建物) フーチング部と柱部の鉄筋組立・据付 継続
11/3 (木) 曇/雨	・plot 4-2 ~ 4-5の均平工。B-3地先のPipe据付。 ・旧排水路埋立て (plot 4-5辺り) (建物) 柱基部へのコンクリート打設
11/4 (金) 晴	・B-1, B-2のPipe据付高を修正し 据付高の変更を指示 (建物) 下部ブロック積工事開始
11/5 (土) 雨/曇	昨夜来の豪雨のため 工事中止
備	11/6(日) 休日
考	

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業 務 日 誌

(昭和63年 11月 7日 ~ 11月 13日分)

ナウリ地区 施工管理業務担当: 坂梨良介

月日	主 要 業 務 動 向
11/7 (月) <月>	・旧水路の埋立完了。・Plot 4-5, 4-6の Levelling 実施中 ・排水路 No.3の路肩整形工開始、・PC-1の埋立完了。 (建物) 基礎工事継続
11/8 (火) 晴	・B-1, B-2のパイプ据付工事変更(据付高違っていた為) ・排水路 No.3の路肩整形工継続。Plot 1-2の2次レベルング工 (建物) 床コンクリート打設準備
11/9 (水) 晴	・B-1, B-2のパイプ据付変更工事。・B-3の Head Wall 工事 ・Plot 4-5, 4-6のレベルング工事 (建物) 床コンクリート打設の為の基礎砂利投入、鉄筋敷設
11/10 (木) 晴	・Plot 4-2, 3-1 2次レベルング。・B-1 工事継続中 ・排水路 No.3の路肩整形工継続 (建物) 床コンクリート打設
11/11 (金) 晴<月>	・Plot 1-1, 1-2, 1-3, 1-4 表土戻し作業。・排水路 No.3の 路肩整形工継続 (建物) 壁ブロック積上げ
11/12 (土) 雨<月>	・圃場工事は昨夜来の雨のため工事中断 (建物) 外壁ブロック積上げ
備 考	11/13(日) 休日

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業務日誌

(昭和63年11月14日 ~ 11月20日分)

ナウソリ地区 施工管理業務担当: 坂梨 龍介

月日	主要業務動向
11/14 (月) 晴	<ul style="list-style-type: none"> Plot 1-3, 1-4 の表土戻し作業 (ブル2台) 道路 No.1 道路整形工事 Outlet Box (Pre Cast) 製作 (建物) 外壁ブロック積上工事
11/15 (火) 雨	<ul style="list-style-type: none"> B-1 の Head Wall 工事 排水路 No.3 の路肩整形工事 Outlet Box 製作 / 雨のため表土戻し作業中断 (建物) 外壁ブロック積上工事
11/16 (水) 晴/曇	<ul style="list-style-type: none"> Plot 1-7 の表土戻し B-2 の Head Wall 工事 B-1 の Head Wall 工事 (配筋) (建物) 外壁ブロック積上工事
11/17 (木) 晴	<ul style="list-style-type: none"> Plot 2-1 ~ 2-4 の表土戻し作業 排水路 No.1 路肩整形 B-1, B-2 Head Wall 工事 (建物) 外壁ブロック積上工事
11/18 (金) 晴	<ul style="list-style-type: none"> Plot 2-5 ~ 2-7 の表土戻し作業 排水路 No.1 路肩整形 B-1, B-2 Head Wall 工事 (建物) 外壁ブロック工事
11/19 (土) 晴	<ul style="list-style-type: none"> Plot 3-5 ~ 3-7 の表土戻し作業 / 午後雨のため工事中断 (建物) 休日 / 人夫休日のため
備考	11/20 (日) 休日

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業 務 日 誌

(昭和63年 11月2日 ~ 11月27日分)

ナウソリ地区 施工管理業務担当: 坂梨良介

月日	主 要 業 務 動 向
11/21 (月) 晴	<ul style="list-style-type: none"> plot 3-1~3-4の表土戻し作業。B-4, B-5 基礎工事 排水路 No.3の路肩整形工事 (建物) 工事中断
11/22 (火) 晴	<ul style="list-style-type: none"> plot 4-4, 4-5の表土戻し作業。B-4の Head Wall 工事 排水路 No.3の路肩整形工事 (建物) 打合せ/今後の工事計画確認
11/23 (水) 晴/曇	<ul style="list-style-type: none"> * 圃場工事の残工事について工程打合せ。 plot 4-2~4-3の表土戻し作業。B-5 Head Wall 工事 (建物) 柱部帯鉄筋取付工事
11/24 (木) 雨	<ul style="list-style-type: none"> plot 4-1~4-3の表土戻し作業。B-4, B-5 Head Wall 工事 排水路 No.1の路肩整形工事 (建物) 柱部帯鉄筋取付工事
11/25 (金) 曇/晴	<ul style="list-style-type: none"> * 水落氏(JICA事務所), Mr. Samsoni (MPI), Mr. Kamresh (MPI)を現場案内, その後小型飛行機により工事状況視察 排水路 No.2の路肩整形工事, (建物) 柱工事
11/26 (土) 晴	圃場工事は昨夜の雨のため工事中断 (建物) 柱の型枠工事
備 考	11/27(日) 休日

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業務日誌

(昭和63年11月28日 ~ 12月 / 日分)

ナウソリ地区 施工管理業務担当: 坂梨 良介

月日	主要業務動向
11/28 (月) 晴	<ul style="list-style-type: none"> Mr. Uma Datt (P&I Div. の Engineer) に工事状況説明/現場案内 Plot 3-1 のレベルング工事、道路盛土不陸修正工事 (建物) 柱部型枠工事/コンクリート打設
11/29 (火) 晴	<ul style="list-style-type: none"> 現場写真(工種毎)撮影 * 引継書類等作成 (建物) 柱部梁工事
11/30 (水)	<p>業務引継(岩井と)、帰国あさつ回り</p> <p>FJ 914 便にて ナンディ発 シニ一着 (シニ一泊)</p>
12/1 (木)	<p>(移動日)</p> <p>QF 069 便にて シニ一発 成田着</p>
/ (金)	
/ (土)	
備考	

文書受付

事業所本部			プロジェクト		
部長	課長	担当	リーダー	調整員	報告者
					岩井

業務状況報告書
(563年12期分)

発信番号()
発信日 563年12月 日

国際協力事業団
総 裁 殿

フィジー国稻作研究開発パイロット

プロジェクト名 インフラ整備事業施工管理業務
担当者 岩井 功

件名： フィジー国稻作研究開発パイロットインフラ整備
事業施工管理業務の昭和63年12月分
業務報告書の提出に因して

上記業務の昭和63年12月分業務報告書と
以下の内容で提出致します。
御査収の程宜敷くお願い致します。

(内容)

1. 施工管理業務状況
 - (1) ナブア地
 - (2) ナウソリ地
 - (3) 同場管理棟
2. 業務日誌
3. 添付資料

1. 施工管理状況

(1) ナブア地区

① 圃場均平作業

No.28 ~ No.36 圃場全棚に渡って圃場の最終均平作業を実施した。

② 用水路工

3号用水路工の盛土を実施した。盛土終了の用水路を、6号、CカI-IV、3号、1号、2号用水路の順に掘削を実施した。また用水路横断工及び分水工を掘削終了の用水路より順次設置した。

③ 道路工

No.34圃場道路、7号道路の盛土を継続して実施した。盛工後転圧をし、砂利金舗装を実施した。しかし、12月中旬以後降雨のため、4号、7号、No.34圃場、No.35圃場道路の一部の砂利金舗装は未完成である。天気回復を待って実施する予定である。

④ Inlet工 Outlet工

圃場の最終均平及び用水路の掘削後 Inlet工、Outlet工の設置を実施した。

⑤ 工事検査

12月21日にD&Iの技術者 Mr. Lam の立合で工事検査を実施した。その結果、指摘事項が添付資料-3に示す毎に見られた。

これらの指摘事項は岩井が帰国後 D&Iの技術者が施工業者を管理し、実施する事とした。

(2) イウソリ地巴

① 圃場均平作業

表土の乾燥を待たず、大きな土塊の破砕及び最終均平作業を実施した。

② 排水路工

No.2の約半分の区画及びNo.3の圃場外区画の水路肩盛土の整形を実施した。排水路横断工のB-4の埋戻し工事を実施した。

③ 道路工

道路表面の不陸修正の後、転圧及び砂利全舗装を実施した。

④ チェックゲート工

排水路横断工(B-1, B-2)のHead Wallに付随するチェックゲートのコンクリート工事終了後、チェックゲートの設置を実施した。

⑤ アウトレット工

圃場の最終均平作業終了後、事前に作製されたBox部の据付、及びNo.17の据付工事を実施した。

⑥ 工事検査

12月23日にD&Iの技術者 Mr. Sumawi, Mr. Lam の立合で工事検査を実施した。その結果、添付資料-3に示す毎く指摘事項が見られた。これらの指摘事項は、Navuaと同様に、岩開が帰国後、D&Iの技術者が、施工業者を管理し、実施する事とした。

(3) 圃場管理棟

今月の工事としては 1階ハリのコンクリート打設後 2階部の壁ブロックの積上げ、 2階部の柱のコンクリート打設、 2階ハリのコンクリート打設 及び 屋根工事の一部と 2階床工事の一部が完了している。また、玄関の門柱のコンクリート打設工事、 及び 1階壁のフロースター工事も完了している。

翌月の予定としては 屋根工事の完了 及び 2階壁のフロースター工事 後 窓取付工事、 2階床工事、 及び 1、2階の内装工事を予定している。

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業務日誌

(昭和63年 12月 1日 ~ 12月 4日分)

施工管理業務担当: 岩井 功

月日	主 要 業 務 動 向
/	
(月)	
/	
(火)	
/	
(水)	
12/1 (木)	(Nausori) outlet工の設置、進入路の作成 No.28-1, No.30-1, No.32-5 圃場均平作業, 6号用水路横断工作成 (Navua) 3号用水路盛土, CCAI-IV用水路掘削 (管理棟) 1階ハリのコンクリート打設
12/2 (金)	(Nausori) outlet工の設置、進入路の作成、最終均平作業 No.29-1, No.35-1, 2, No.36 圃場均平作業 (Navua) CCAI-IV用水路掘削, 3号用水路盛土, 6号用水路横断工作成 (管理棟) 2階ブロック積作業
12/3 (土)	(Nausori) outlet工の設置、進入路の作成、最終均平作業 No.32-1, No.31-1, No.34 圃場均平作業 (Navua) CCAI-IV用水路掘削, No.4圃場道路盛土, 6号用水路横断工作成 (管理棟) 2階ブロック積作業
備	
考	12/4(B) 休日

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業務日誌

(昭和63年 12月 5日 ~ 12月 11日分)

施工管理業務担当: 岩井 功

月日	主要業務動向
12/5 (月)	(Nausori) outlet工の設置, Stop Gateの作成, 最終均平作業 No.31, No.32, No.35, No.36 圃場均平作業 (Navua) 2号用水路掘削, No.24圃場道路, 7号道路盛土, 3号用水路合口 作成 (管理棟) 2階フロア積作業
12/6 (火)	(Nausori) outlet工の設置, Stop Gateの作成, 最終均平作業 No.28-3, No.36-1 圃場均平作業, No.35圃場道路, No.29圃場 (Navua) 1号用水路掘削, 3号用水路掘断工作成, 道路盛土 (管理棟) 2階フロア積作業
12/7 (水)	(Nausori) outlet工の設置, Stop Gateの作成, 最終均平作業 1号用水路掘削, No.28, ~30 圃場最終均平作業, (Navua) 1号, 34号, 35号道路砂利敷, 3号用水路掘断工作成 (管理棟) 2階フロア積作業
12/8 (木)	(Nausori) Stop Gate工作成, 最終均平作業 No.31~No.33 圃場最終均平作業, 2号用水路掘削 (Navua) 1号用水路掘断工作成, 砂利の搬入 (stock yard) (管理棟) 2階フロア積作業, 2階柱のコンクリート打設
12/9 (金)	(Nausori) Stop Gate工作成 No.34~No.36 圃場最終均平作業 (Navua) 1, 2号用水路掘断工作成, 砂利の搬入 (stock yard) (管理棟) 2階フロア積作業, 2階柱のコンクリート打設
12/10 (土)	(Nausori) Stop Gate工作成 (Navua) 道路工転圧, 1, 2, 3号道路砂利敷, inlet, outlet工の設置 (管理棟) 休日 / 1人天休暇の為
備考	12/11(日) 休日

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務
業 務 日 誌

(昭和63年 12月 12日 ~ 12月 18日分)

施工管理業務担当: 岩井 功

月日	主 要 業 務 動 向
12/12 (月)	(Wauseri) 前後の雨で作業中止 (Wavua) inlet, outlet工の設置, 分水ゲートの製作設置 (管理棟) 2階ハリの型枠鉄筋組立
12/13 (火)	(Wauseri) 道路敷砂利 (Wavua) inlet outlet工の設置, 分水ゲートの製作設置 (管理棟) 2階ハリの型枠鉄筋組立
12/14 (水)	(Wauseri) 道路敷砂利 (Wavua) inlet, outlet工の設置 (管理棟) 2階ハリの型枠鉄筋組立, BUIコニクリートFT設
12/15 (木)	(Wauseri) 道路敷砂利 (Wavua) inlet, outlet工の設置 (管理棟) 2階ハリのコニクリートFT設
12/16 (金)	(Wauseri) 道路敷砂利 (Wavua) 道路敷砂利, inlet outlet工の設置 (管理棟) 2階ハリのコニクリートFT設
12/17 (土)	(Wauseri) 雨の為, 作業中止 (Wavua) inlet, outlet工の設置 (管理棟) 2階ハリのコニクリートFT設
備 考	12/18(日) 休日

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務

業 務 日 誌

(昭和63年 12月 19日 ~ 12月 25日分)

施工管理業務担当: 岩井 功

月日	主 要 業 務 動 向
12/19 (月)	(Wausori) 道路敷砂利 (2m) JICA事務所と管理棟増築に (Navua) inlet, outlet工の設置 フリマ合セ (管理棟) 屋根工事
12/20 (火)	(Wausori) 道路敷砂利 敷砂利終了 (Navua) inlet, outlet工の設置 (管理棟) 屋根工事, 1階壁のフォーム-工事
12/21 (水)	(Navua) D&I Mr. Lomi と工事検査 inlet, outlet工設置 (管理棟) 屋根工事 1階壁のフォーム-工事
12/22 (木)	(Navua) 雨の為作業中止 (管理棟) 屋根工事, 1階壁のフォーム-工事
12/23 (金)	(Wausori) D&I Mr. Swami, Mr. Lam と工事検査 (Navua) 雨の為作業中止 (管理棟) 雨の為作業中止
12/24 (土)	(Navua) 雨の為作業中止 (管理棟) 雨の為作業中止
備 考	12/25(日) 休日

フィジー国稲作研究開発パイロットインフラ整備事業施工管理業務
業 務 日 誌
 (昭和63年 12月26日 ~ 12月31日分)

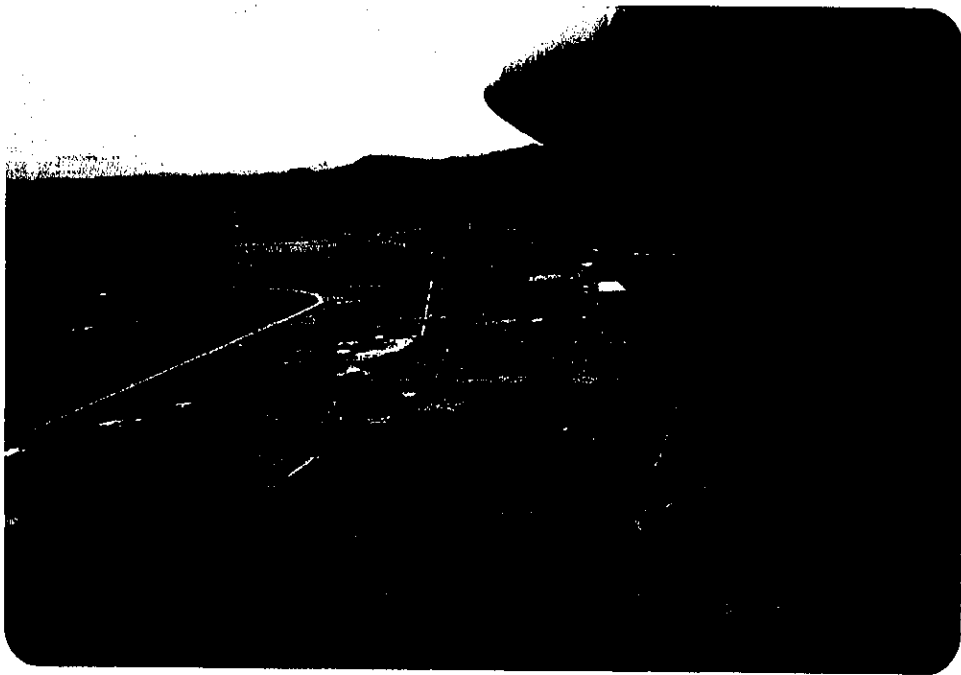
施工管理業務担当: 岩井 功

月日	主 要 業 務 動 向
12/26 (月)	クリスマス休日の為作業中止
12/27 (火)	クリスマス休日の為作業中止
12/28 (水)	D&Iと現場作業に2112打合せ及び可成量の作成
12/29 (木)	D&Iと最終打合せ
12/30 (金)	移動日 (Suva - Nadi - Sydney)
12/31 (土)	移動日 (Sydney - Narita)
備 考	

第8章 工 事 写 真

	ページ
8-1 圃場造成工事写真	383
8-1-1 ナブア地区工事写真	384
8-1-2 ナウソリ地区工事写真	390
8-2 圃場管理棟工事写真	396

ナブア地区工事写真



ナブア地区全景

ナブア地区工事写真



ナブア地区全景（圍場造成工事前）



ナブア地区全景（圍場造成工事後）

ナブア地区工事写真



No.28-1 ~ No.31-1圃場レベリング状況

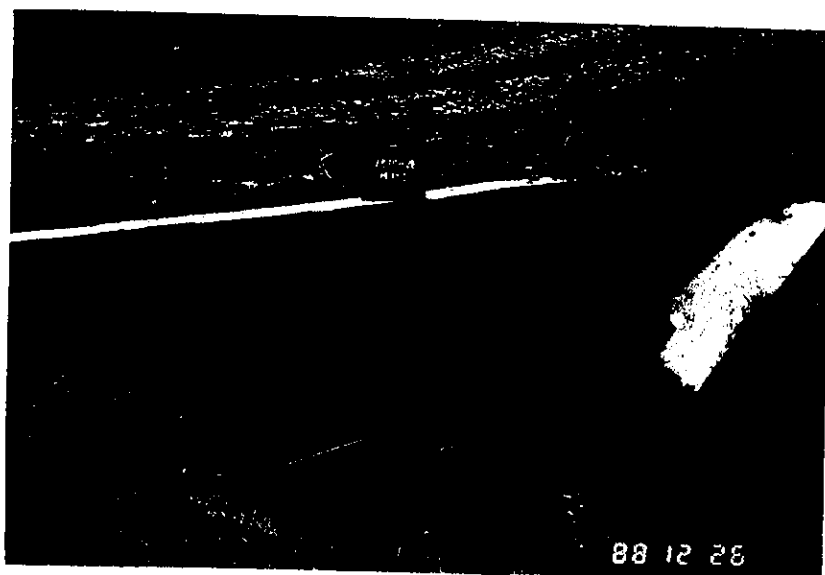
ナブア地区工事写真



1号道路工事

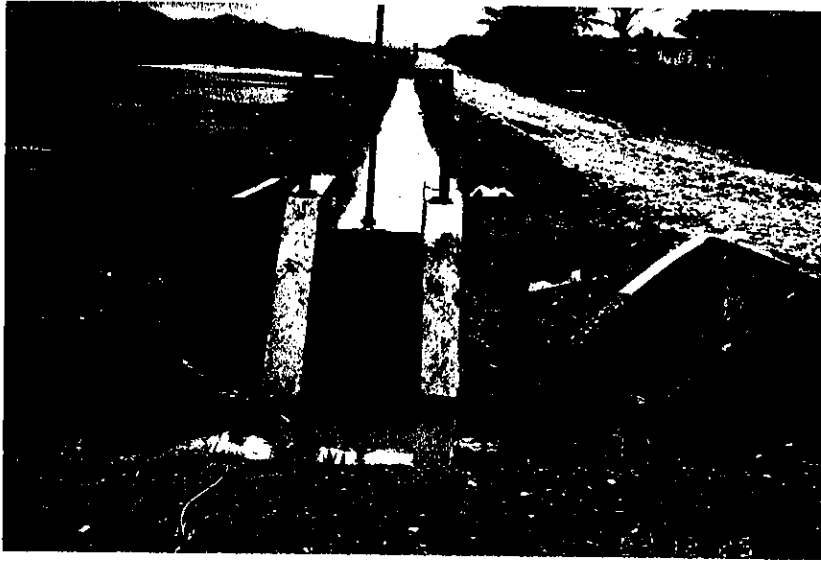


1号排水路工事



1号排水路横断工

ナブア地区工事写真



1号用水路分水工事

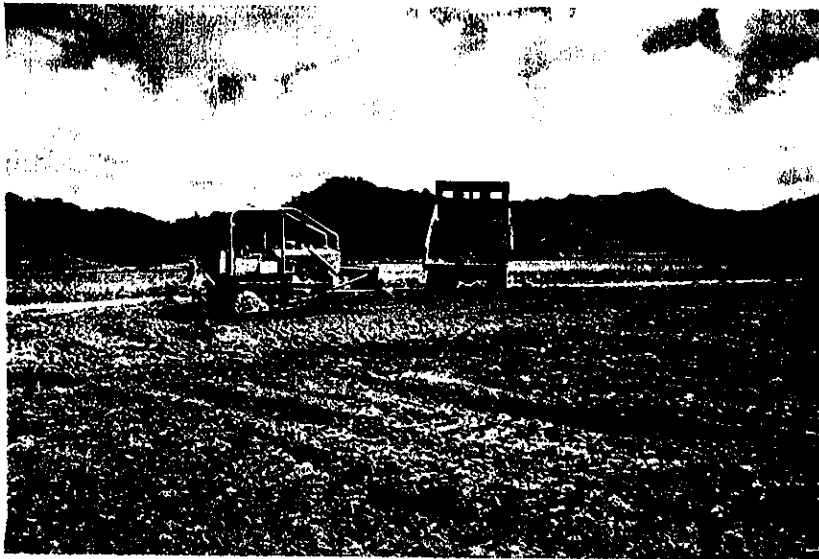


1号用水路横断工



インレット工

ナブア地区工事写真



6号用水路
盛り土工事中



6号用水路
盛り土工事転圧状況

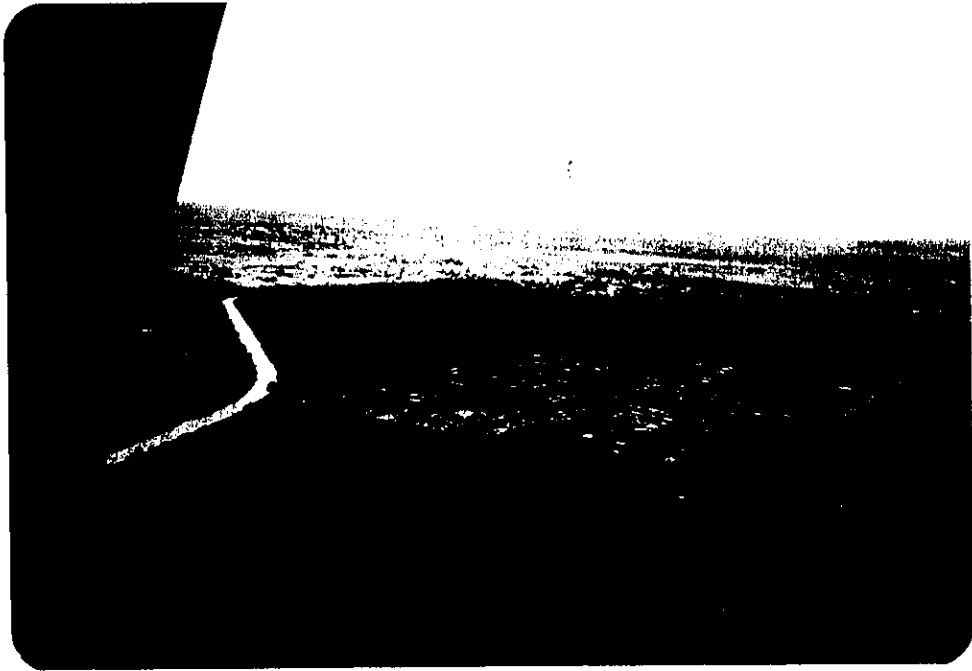


6号用水路
掘削工事状況

ナウソリ地区ほ場整備工事

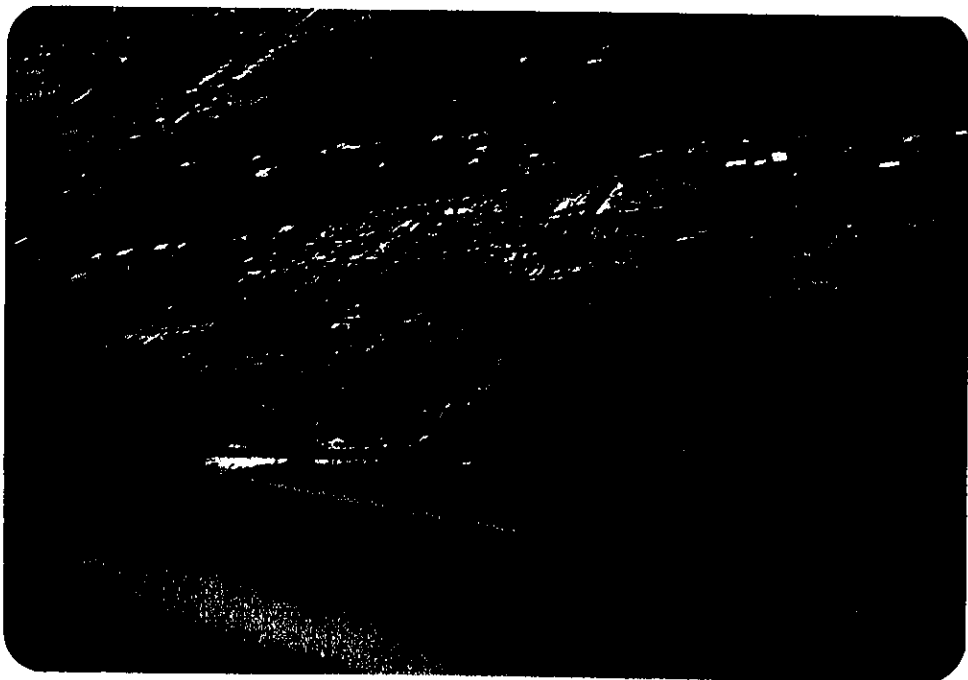
ナウソリ地区工事状況航空写真（昭和63年11月25日段階）

—— 北東側からの全景 ——

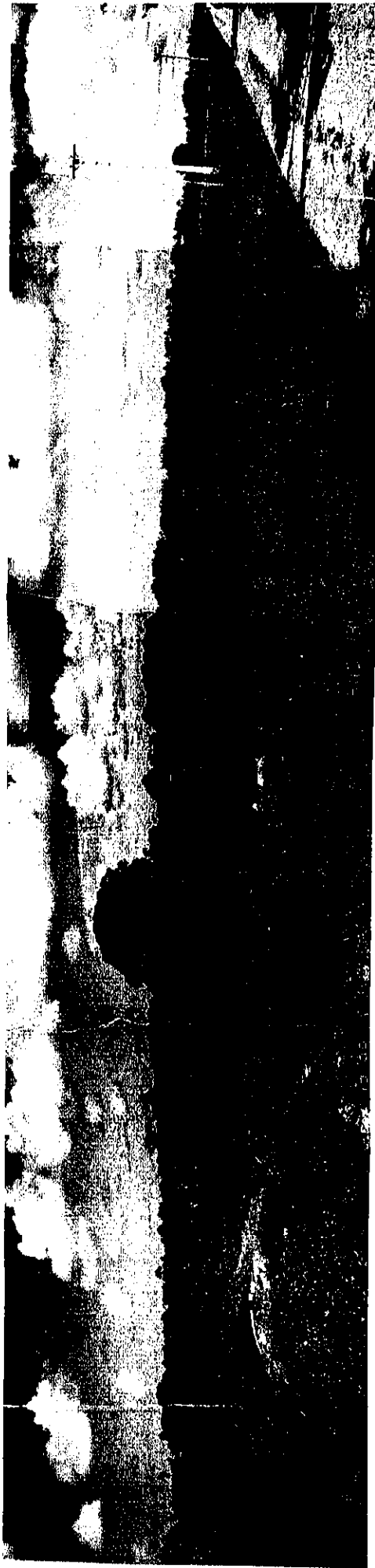


同 上

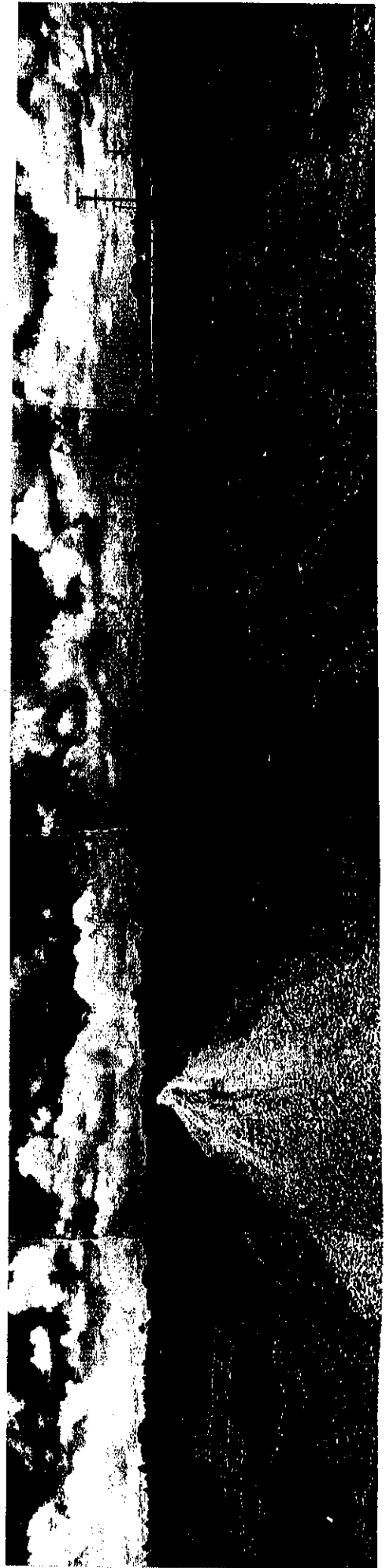
—— 南側からの状況 ——



ナウソリ地区工事着手前状況
——北東角より南西方向を臨む——

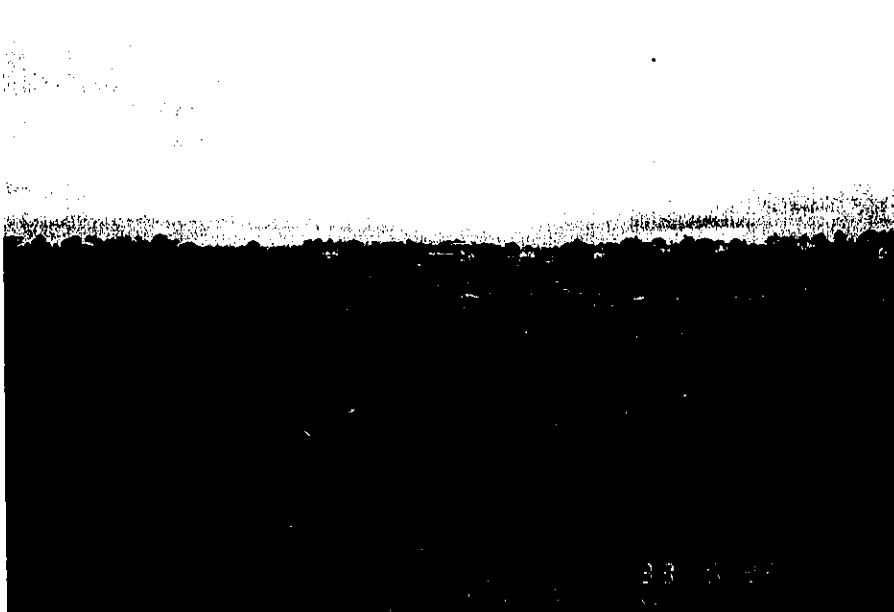


ナウソリ地区工事終了時状況
——北側より南方向を臨む——





伐開工事
(地区南側)



表土はぎ、集積工事
— Plot 3-2 —



レベリング工事
— Plot 4-2 —



表土戻し工事
— Plot 1-3 —



道路工事
(2号道路)



排水路工事
(3号排水路)

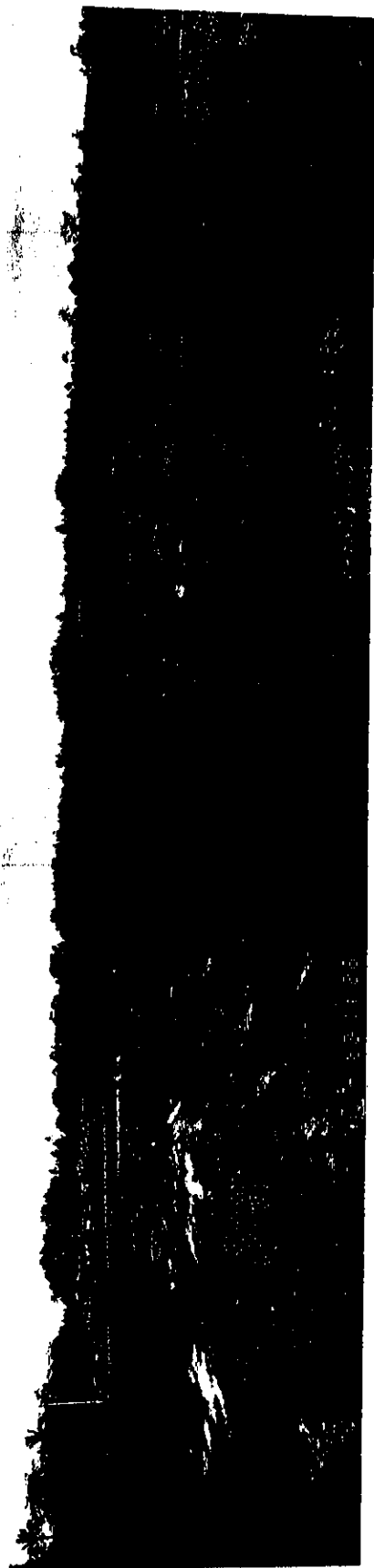
レベリング及び表土戻し工事終了時状況
—— 北側からの全景 ——

Ⓐ



Ⓐ

Ⓐ



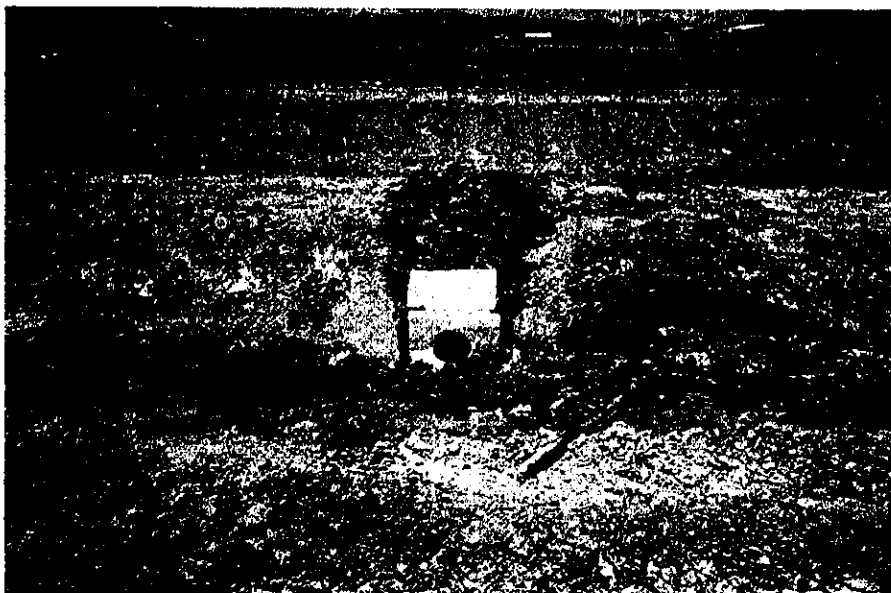
Ⓐ



排水路横断工工事
(PC-2地点)



チェックゲート工事
(B-1/No.1地点)



排水口工事

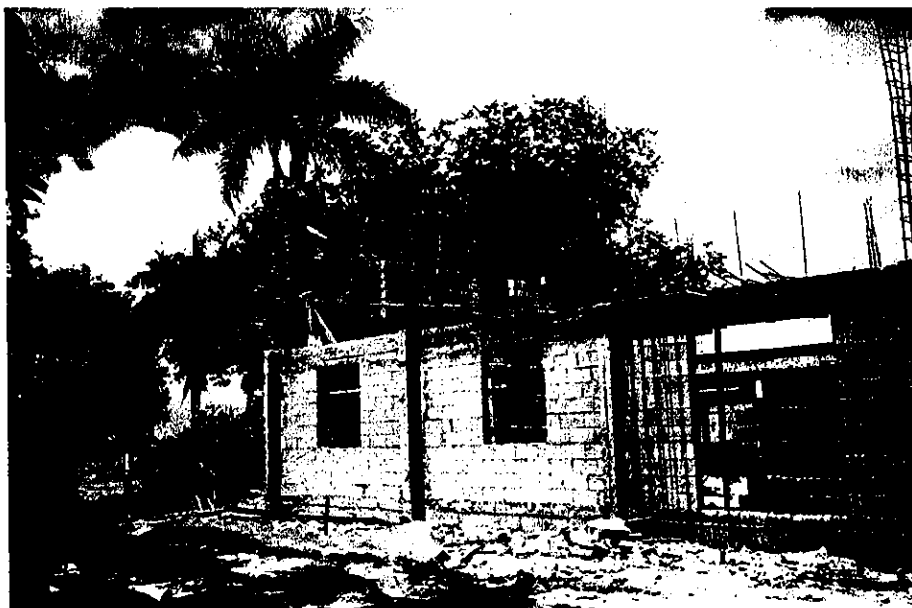
ほ場管理棟工事（コロニア試験場内）



基礎工事
(フーチング、柱工事)



床コンクリート打設工事



壁ブロック積上工事



屋根工事



外装、玄関工事



内部状況（支保工他）

JICA